

タルが割れた 「黒ひげ危機一発」

ゆきや(2024.3.18)

このおもちゃには強力なスプリングが仕込まれていて、黒ひげが飛び出すのですが、こんな風にタルがバラバラに壊れてしまう事もあります。

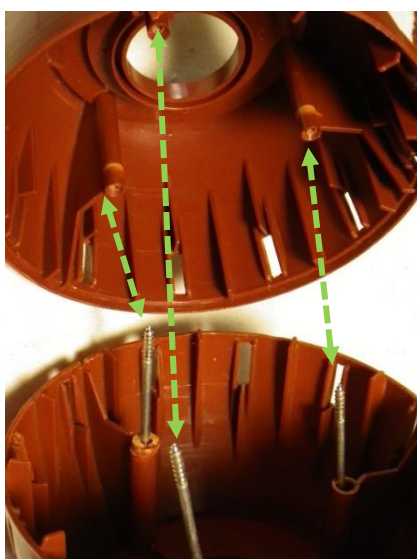
遊び方は、

- ① タルに黒ひげを押し込みます。この時、射出メカのスプリングがロックされ、引き金が出ます。
- ② 遊び手が交代交代、タルに空けられた隙間に剣を差し込んでいきます。
- ③ 剣の先が射出メカの引き金に当たると、スプリングが弾けて、黒ひげが飛ばされます。これで負けです。

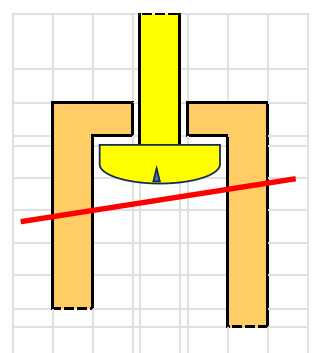
写真の、上段が壊れたタル、
下段左がタルに突き刺す剣。
中央の黒いのが射出メカ、
右が哀れな黒ひげです。



預かった段階で、射出メカは幸いにも壊れていないことが分かりました。
黒ひげの足で、上端の突起を押すとスプリングが押し込まれ、引き金が出ました。
そして引き金に触れると、ロックが外れて、突起が勢いよく飛び上がります。
(通常はこのメカがしばしば破断するのです。)



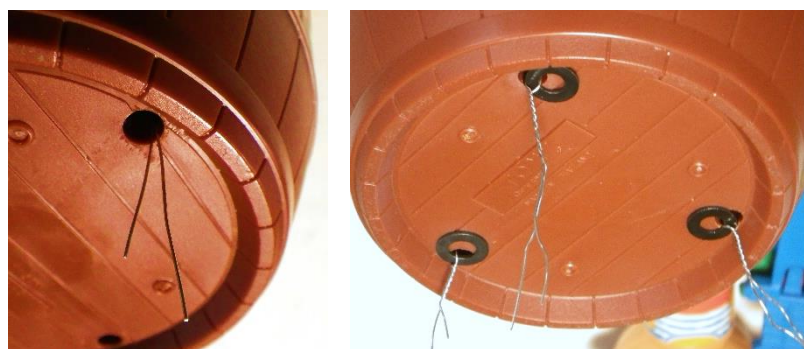
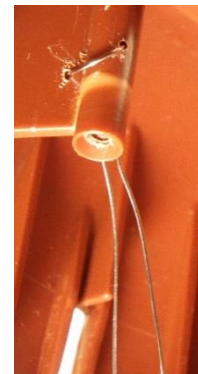
タルは上下に分かれていて、長さ6cmのタップネジ3本で、矢印のように結ばれています。
今回はこのタップネジの頭を留める部分が、3カ所とも割れて無くなっていました。図の赤線から上の部分です。



問題はこの底の抜けた桶のような所にタップネジをどうやって留めるかです。ネジに合うワッシャーをかぶせることも考えましたが、接着だけでは力負けするでしょうし、効果的な固定方法は思いつきません。タップネジの頭をステンレス線で縛り付けるのも、いささか不安定でしょう。

一方、反対側のネジを受ける方にも、問題がありました。3カ所とも、疲労して白くなっていたのです。ここに擦り込んでも、早晩ちぎれてしまうかも知れません。

結局考えたのは、タップネジを使う事はあきらめて、タルの上下をステンレス線で結束する方法でした。写真のように2か所穴を開け、ステンレス線を通します。



そのステンレス線をタルの底まで通して、結ぶのです。抜け止めのために、それぞれワッシャーを通して締めました。



ステンレス線の先は安全のために、接着剤でカバーしました。

ハラハラドキドキの「元祖 黒ひげ危機一発」が復活しました。

